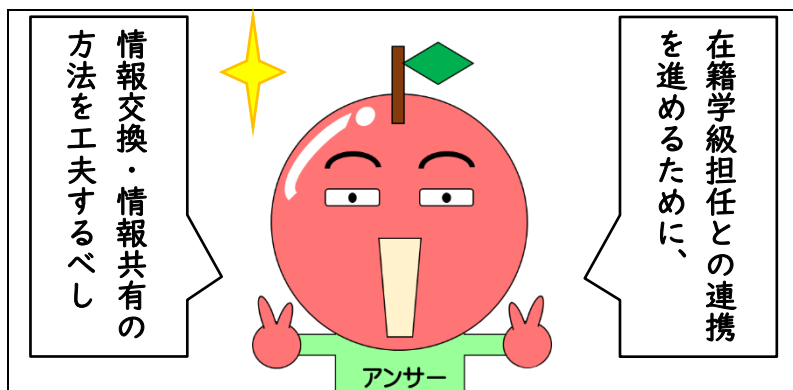
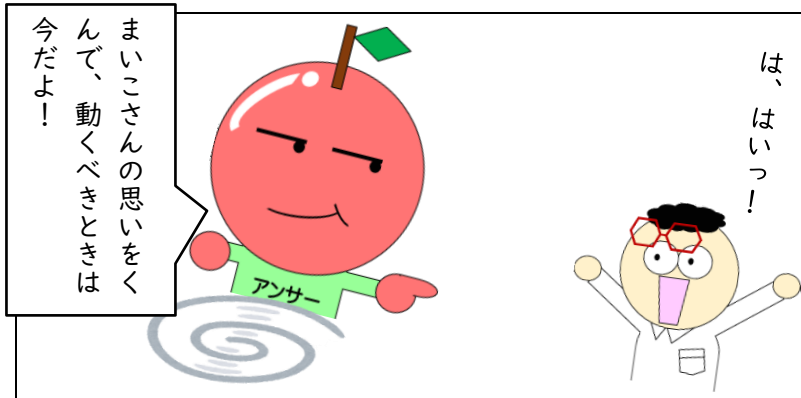
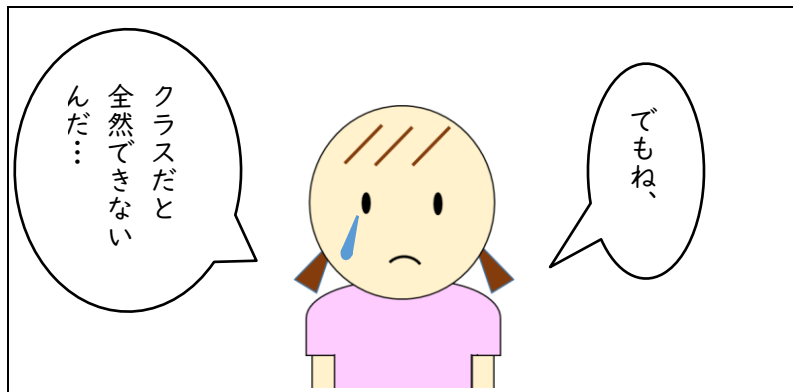
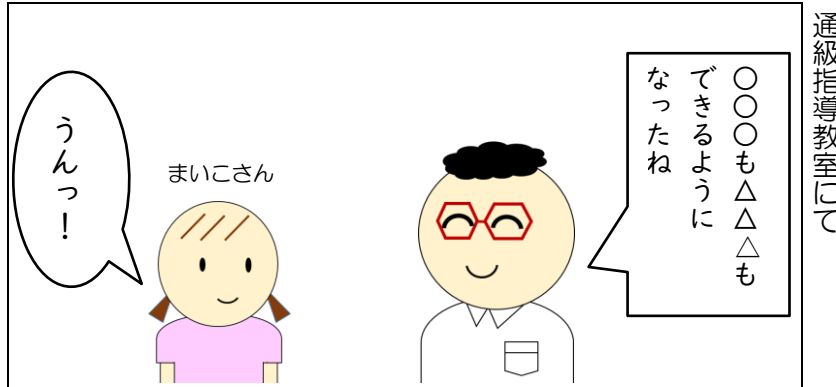


# Q32. 通級指導教室での指導を在籍学級でどう生かせばよいのでしょうか？

※新米先生は通級指導教室を担当している




## 在籍学級担任との連携を進める

### □ 目的に応じて、在籍学級担任との情報交換や情報共有の方法を工夫します。

通級指導教室では、その子にとって必要な様々なスキル等を身に付け、在籍校（在籍学級）での適応向上を目指しています。そして、そのためには通級担当者と在籍学級担任が子供のつまずきの場面や成長を共通理解していくことが欠かせません。しかし、日常の業務に追われ、情報交換や情報共有の時間がなかなか取れないのも現実です。そこで、目的に応じて、情報交換・情報共有の仕方を工夫してみましょう。

#### 連絡帳

通級指導教室での学習活動や子供の様子（頑張っていること、困っていることなど）が書かれており、日常的な情報交換としては取り組みやすく効果的です。通級指導教室でできるようになったことが分かりやすく、また、通級指導教室での頑張りを学級担任がほめる機会にもなり、学習意欲の向上につながります。

のびのび 小学校 連絡ノート		
〇月 〇日 (〇)	〇時間目	名前 ナイセ
きょうの べんぎょう		
あいさつ		シール
1	詩をよむ。	◎
2	わからない ことばを「じてん」でしらべる。	○
3	詩をよんで、「かんそうカード」をえらぶ。	◎
4	かんそうを かいて、はなす。	◎
あいさつ		
ふりかえり		
かんそうをいうことができました。カードがあってよかったです。		
通級の先生から カードを選ぶとき、よく考えていましたね。 かんそうをいう時の声も◎	担任の先生から 	おうちの人から かんそうを言えたこと、うれしそうに教えてくれました。私もうれしくなりました。

※独立行政法人国立特別支援教育総合研究所（2018）より引用

#### 在籍校訪問

通級担当者が、対象の子供の在籍学級を訪問し、授業の様子を観察したり、学級担任と情報交換したりすることにより、通級指導教室では見られない姿を知る機会となります。また、その後、懇談する時間を設けることにより、学級担任と一緒に子供のつまずきの背景を分析したり、支援の方向性の確認をしたりする機会となり、より効果的に支援を行うことができます。

在籍校訪問は、個別の指導計画を確認する時期（例：年度当初）や評価する時期（例：学期末、学年末）に行うことで、指導の方向性の確認や、子供の変容による指導の評価、次の目標設定と手立ての検討を一緒に行うことができ、効果的です。

#### 通級指導教室訪問

在籍学級担任が、対象の子供の通級指導教室を訪問し、個別又は小集団での自立活動等の指導の様子を参観することで、学級では見られない児童生徒の様子を知ることができます。そこから、集団での活動の課題や指導のヒントを見つけることができるかもしれません。

【文献】 調布市特別支援教育研究部会・山中ともえ 編著（2019）：特別支援教育サポート BOOKS「通級担当1年目からの疑問に答える Q&A」, 明治図書出版。  
 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 編著（2018）：小学校・中学校通常の学級のための手引書—通級による指導を通常の学級での指導に生かす—, ジアース教育新社。  
 佐藤慎二 編著・大山恭子 著（2020）：今日からできる！発達障害通級指導教室, ジアース教育新社。  
 田中裕一 監修・全国特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会 編（2019）：新版「特別支援学級」と「通級による指導」ハンドブック, 東洋館出版社。

#### よく一緒に読まれている Q

- Q31 [「通級指導教室のこと、周りの子供たちにどうやって説明すればよいですか？」](#)
- Q33 [「ケース会議を開くことになりました。何を準備すればよいですか？」](#)

目次に戻る